

逗子市議会議員

さぎさか ゆうじ 活動レポート vol.22

～無所属で活動中～



■さぎさか ゆうじ(句坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 46歳 逗子市沼間1-8-2

沼間小学校卒業・逗子中学校卒業・私立横浜商工高等学校卒業(有) 句坂昼店入社
逗子市商工会青年部部長・逗子葉山青年会議所理事長・逗子葉山建設組合青年部長
沼間小PTA会長・逗子市PTA連絡協議会会長・神奈川県PTA協議会常任理事

家族構成: 妻と長女(高校3年) 次女(小6年) 長男(小学4年)

現在2期目 議会報編集委員長、基地対策特別委員長、総務常任委員長、予算・
決算特別委員長 現在、議会運営委員会委員長 所属会派 市政クラブ

28年度第2回定例会報告

第2回定例会が6月9日～23日に行われました。

今回の定例会では、平成28年度の一般会計補正予算及び国民健康保険事業特別会計補正予算が提出されました。28年度一般会計補正予算については、修正案(地域自治システム事業の減額修正)が提出されましたが否決、原案については、賛成多数で可決されました。一般会計補正予算では、健康増進計画推進事業及び市民交流センター維持管理事業について付帯決議案が提出され、可決されました。国民健康保険事業特別会計補正予算については、全会一致で可決されました。その他の主な議案では、逗子市法定外公共物管理条例の制定について(可決)、逗子市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について(可決)その他、陳情15件が審議されました。一般質問では、14名の議員が行いました。私は、地域自治システムの構築について、地域経済の活性化について、地域公共交通の充実について、神武寺トンネル改良事業について、市営住宅の空き駐車場の活用について、学校施設開放の一元化について、学校教育についての質問を市長、教育長にしました。

市営住宅の空き駐車場の活用 実現へ

沼間南台市営住宅の空き駐車場の活用については、これまでに市の財源確保の観点と居住者や近隣住民の要望を受けて、空き駐車場を活用すべきと提案をしてきました。当初、市は、市営住宅は国庫補助事業なので、国のルールに基づいて目的外使用は、現状では難しいとの見解を示していましたが、私が直接、国に確認したところ目的外使用が可能だということがわかりました。すでに他の自治体でも月極での貸し出しやコインパーキングにしているケースもありました。沼間南台市営住宅は築10年が経過していることから、制度的には用途変更が可能となることがわかりまして、市は、活用に向けた具体的な検討を始めました。居住者の方のアンケート調査等による意向把握、貸し出す駐車場の場所の選定、入居車両と外部の車両が交錯しないための安全対策、駐車場を外部に貸し出すとした場合の管理方法、料金徴収等、そして市営住宅条例の改正も必要になります。今後、条例改正に向けて国、県との調整、手続き等の準備が進められていきます。まずは規則改正で、居住者の2台目の貸し出しが可能となります。来年度中には、外部に貸し出しが実現になる見込みです。



沼間南台市営住宅の空き駐車場

住民自治協議会の交付金 補正予算で承認

本市が、地域コミュニティの再生を目指して、導入した「ずしの新しい地域自治」として、住民自治協議会が全小学校区に設立することを目指しています。すでに沼間小学校区、小坪小学校区が設立し、本年4月には、池子小学校区が設立されましたが、28年度当初予算において、住民自治協議会の地域づくり交付金が議会で否決されました。そんな状況におかれても、各校区住民自治協議会は、前向きに活動をしていく方針を示しました。今定例会において、補正予算で地域づくり交付金が無事に承認されました。地域の課題等の問題解決に向けて、今後の活動に期待しています。

保育所の待機児童解消策

民間保育所誘致により4月から「返子なないろ保育園」が開園しましたが、入所申し込みが予想を上回る人数となったため、依然として待機児童解消には至らない状況であり、4月1日時点の待機児童数は19名です。今定例会において、小規模保育施設(0歳児～3歳児)1か所を誘致し設置するための補正予算(施設改修費用及び開所までの間の家賃補助)が提出されました。市としては今後、市内の幼稚園が認定こども園に移行し、待機児童の受け皿になっていくという計画上の位置付けに基づき、市内の幼稚園の意向等を踏まえて、政策的判断していく考えです。

地域公共交通の充実に向けて

高齢化が進む本市では、交通不便地域での高齢者の移動手段として、路線バス、ミニバスの拡充など様々な地域から要望があがっています。高齢者が安心して暮らしていけるまちとして、交通不便地域の解消に向けた取り組みが必要だと考えますが、路線バス、ミニバスの拡充については、現状は難しいようです。返子市総合計画のリーディング事業として、地域主体でのコミュニティバス等の導入が盛り込まれています。市は、横浜市の事例等、調査、検討を進めています。今後運用を検討している地域への情報提供、具体的な支援が必要と考えます。



神武寺トンネル拡張工事 11月から

平成28年度、29年度の2カ年継続工事として実施します神武寺トンネル拡幅工事は、当初予定では、平成28年3月に準備工事に着手し、6月から車両通行止めをして工事を開始し、平成29年7月末に工事完了の予定でありましたが、トンネル内埋設物等に係る占用事業者及び工事受注者との調整で、埋設物等の移設工事に想定以上の期間がかかり、拡幅工事の工事開始が遅れる見込みとなりました。工事に係る変更等があった場合には、速やかに近隣住民等へ説明をするように求めています。また、工事期間中、県道24号線、水道路等、かなりの交通渋滞が予想されます。交通渋滞対策を警察と具体的な協議をするように担当所管に求めているところです。**通行止め期間は、28年11月から平成30年2月頃までを予定。**

皆様の声を聞かせて下さい。
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

御名前

御住所

連絡先